

成長著しいインドの政治経済の現状と展望

拓殖大学名誉教授 小島 眞

- * 約束された高成長
- * 汚職撲滅とガバナンス
- * 強いインド目指す人民党
- * 外資導入で製造業拡大
- * 高額紙幣廃止とGST導入の深謀
- * ハードとソフトの融合
- * 注目の固有識別番号制度
- * 活発な日本の直接投資
- * インフラ整備で日本が協力
- * 中国警戒の一方、実利追求



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）

今日は拓殖大学名誉教授の小島先生においていただきました。当倶楽部には2000年代に2回おいでいただいておりますが、最後が2007年で、もう10年たちました。1970年に慶應義塾大学を卒業され、その後、博士課程を経て千葉商科大学、それから拓殖大学で教鞭をとられてこられました。ずっとインドを専門に研究活動をされ、東洋経済からも2冊ご著書が出ております。インドはたいへん発展を遂げておりまして、そう遠くない将来に中国を追い抜くのではないかと言われています。最近は日本とも経済関係が密接になってまいりましたが、少し疎遠な時期もございまして、日本はあまりインドを知らないというか十分な知識がない人が

多いのではないかと思います。今日はそういった知識をきちんと補充していただくことも含め、小島先生から最新のインドの状況についてお話を伺いたいと思います。それでは小島先生よろしくお願いいたします。（拍手）

小島 皆さんこんにちは。ご紹介いただきました拓殖大学の小島でございます。ただ今ご紹介いただきましたが、たしか2005年と2007年の暮れに2回ほどここで発表させていただきました。本日、10年ぶりにこの由緒ある経済倶楽部で発表させていただく機会を得ました。たいへん光栄に存じております。

今日の題名は「成長著しいインドの政治経済の現状と展望」です。インド経済はモディ政権が2014年に成立して、その後かなり成長が